

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20201517001301	科目番号 / Course code	15170013
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECMC 11301_038		
授業科目名 / Course title	経済数学入門 / Introduction to Mathematics for Economics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤田 渉 / Fujita Wataru, 丸山 幸宏 / Maruyama Yukihiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤田 渉 / Fujita Wataru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤田 渉 / Fujita Wataru, 丸山 幸宏 / Maruyama Yukihiro		
科目分類 / Course Category	学部導入科目, 学部モジュール科目, 自由科目 (教養・専門)		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[ 経済 ] 本館 2 2 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年次生 ~		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	wfujita@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	経済学部東南アジア研究所204号室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日 12:10 ~ 12:40 (必ずEメールでアポイントメントをとること)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	経済学や経営学で用いられる共通言語、また分析道具としての数学の基礎の修得。		
授業到達目標 / Course goals	<p>経済学を学ぶための基礎的教養としての数学を学び、それらをどのように経済学で駆使するかの思考方法の糸口を知ることができるようになる。特に、関数および微分の基礎的概念や計算方法について理解できるようになるとともに、簡単な経済学理論への応用ができるようになることを目標として掲げる。</p> <p>経済学部HP の「受講の手引き (学部)」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。経済数学入門演習は次のDP を授業到達目標としています。</p> <p>DP1: 基礎的教養と現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	中間試験50%、期末試験50%とする。ただし、いずれかの試験を受験しなかった場合は失格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>予習 (事前学習) : 教科書を読んでおくこと (2h)</p> <p>復習 : 講義内容および演習をもとに復習すること (2h)</p> <p>教科書を予習するとともに、併設される「経済数学入門演習」を活用して学習内容を身につける。</p>		
キーワード / Keywords	経済数学、関数、微分、最適化		
教科書・教材・参考書 / Materials	<p>教科書: 藤田渉・福澤勝彦・秋本耕二・中村博和 (編) 『経済数学』 勁草書房、2000年。</p> <p>参考書: A. C. チャン・K. ウェインライト (著) (小田正雄・高森寛・森崎初男・森平爽一郎 (訳)) 『現代経済学の数学基礎 (上)』 シーエーピー出版、2010年。</p>		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	特になし (高校における数学 以上の基礎があれば十分に着手は可能である)。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	Wolfram Alphaを使って数学の自宅学習ができます。大学初年次の数学の問題ぐらいならばほとんど自習できると思います。 <a href="https://ja.wolframalpha.com/">https://ja.wolframalpha.com/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	藤田渉 / シンクタンク (三菱総合研究所) の業務である経済分析、経営分析における数理モデルの構築や応用、数値解析業務 / 経済学および経済分析で用いられる数理的な知識と応用について、実際の業務からの経験を生かして教育を行っている。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション (本講義の目的、なぜ「経済学部」で「数学」を学習するのか?) 基本的事項 (利子計算)
第2回	基本的事項 (現在価値計算)
第3回	基本的事項 (指数関数)
第4回	基本的事項 (対数関数)
第5回	1変数関数の微分 (1変数関数の微分)
第6回	1変数関数の微分 (導関数を求める公式)
第7回	1変数関数の微分 (合成関数と逆関数の導関数、指数関数と対数関数の微分)
第8回	1変数関数の微分 (高階の導関数、関数の極値)
第9回	中間総括 (中間試験) など
第10回	多変数関数の微分 (多変数関数、偏微分)
第11回	多変数関数の微分 (全微分、陰関数の微分)
第12回	多変数関数の微分 (2変数関数の合成関数の微分)
第13回	最適化問題 (制約条件なし)
第14回	最適化問題 (制約条件あり)
第15回	最適化問題の解法と応用
第16回	最終総括 (定期試験を含む)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20201517001302	科目番号 / Course code	15170013
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECMC 11301_038		
授業科目名 / Course title	経済数学入門 / Introduction to Mathematics for Economics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丸山 幸宏 / Maruyama Yukihiro, 藤田 渉 / Fujita Wataru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丸山 幸宏 / Maruyama Yukihiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丸山 幸宏 / Maruyama Yukihiro, 藤田 渉 / Fujita Wataru		
科目分類 / Course Category	学部導入科目, 学部モジュール科目, 自由科目 (教養・専門)		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[ 経済 ] 本館 1 2 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年次生 ~		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	maruyama@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	経済学部本館 5 3 0 号室		
担当教員TEL / Tel	0958206344		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日 12:10 ~ 12:40 (必ずEメールでアポイントメントをとること)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	経済学や経営学で用いられる共通言語、また分析道具としての数学の基礎の修得。		
授業到達目標 / Course goals	<p>経済学を学ぶための基礎的教養としての数学を学び、それらをどのように経済学で駆使するかの思考方法の糸口を知ることができるようになる。特に、関数および微分の基礎的概念や計算方法について理解できるようになるとともに、簡単な経済学理論への応用ができるようになることを目標として掲げる。</p> <p>経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。経済数学入門演習は次のDPを授業到達目標としています。</p> <p>DP1: 基礎的教養と現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	中間試験50%、期末試験50%とする。ただし、いずれかの試験を受験しなかった場合は失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>予習(事前学習): 教科書を読んでおくこと(2h)</p> <p>復習: 講義内容および演習をもとに復習すること(2h)</p> <p>教科書を予習するとともに、併設される「経済数学入門演習」を活用して学習内容を身につける。</p>		
キーワード / Keywords	経済数学、関数、微分、最適化		
教科書・教材・参考書 / Materials	<p>教科書: 藤田渉・福澤勝彦・秋本耕二・中村博和(編)『経済数学』勁草書房、2000年。</p> <p>参考書: A. C. チャン・K. ウェインライト(著)(小田正雄・高森寛・森崎初男・森平爽一郎(訳))『現代経済学の数学基礎(上)』シーエービー出版、2010年。</p>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし(高校における数学 以上の基礎があれば十分に着手は可能である)。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション (本講義の目的、なぜ「経済学部」で「数学」を学習するのか?) 基本的事項 (利子計算)
第2回	基本的事項 (現在価値計算)
第3回	基本的事項 (指数関数)
第4回	基本的事項 (対数関数)
第5回	1変数関数の微分 (1変数関数の微分)
第6回	1変数関数の微分 (導関数を求める公式)
第7回	1変数関数の微分 (合成関数と逆関数の導関数、指数関数と対数関数の微分)
第8回	1変数関数の微分 (高階の導関数、関数の極値)
第9回	中間総括 (中間試験) など
第10回	多変数関数の微分 (多変数関数、偏微分)
第11回	多変数関数の微分 (全微分、陰関数の微分)
第12回	多変数関数の微分 (2変数関数の合成関数の微分)
第13回	最適化問題 (制約条件なし)
第14回	最適化問題 (制約条件あり)
第15回	最適化問題の解法と応用
第16回	最終総括 (定期試験を含む)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6, 金 / Fri 6
開講期間 / Course duration	2020/06/04 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201517001501	科目番号 / Course code	15170015
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECMC 11501_036		
授業科目名 / Course title	金融概論 / Introduction to Finance		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	千野 厚 / Chino Atsushi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	千野 厚 / Chino Atsushi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	千野 厚 / Chino Atsushi		
科目分類 / Course Category	学部導入科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[ 経済 ] 経済学部講堂		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	昼間および夜間主コース1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	achino@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	本棟626		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールにて面会日時の予約をすること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教養教育学部モジュール科目の一つであり、経済学・経営学・会計学に関する諸科目を学ぶために最低限必要な金融に関する基礎知識を習得する。		
授業到達目標/Course goals	DP1 (基礎的教養と現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけている) に対応し、経済学・経営学・会計学に関する諸科目を学ぶために最低限必要な金融に関する基礎知識が理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末レポート100点で評価し、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: LACSにおいて授業資料を事前に配布し、読んでくるべき箇所を示すので、それらに目を通して たうえて講義にのぞむこと。(2h) 復習: 授業資料を再読み、理解を確実にするように努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	金融市場、金融論、ファイナンス		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: 岩田規久男『テキストブック金融入門』東洋経済新報社 2008年		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特に無し		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) /Remarks (URL)	Yahooファイナンス等のサイトなどの金融・ファイナンスに関する情報に対して、常に興味を持って おくことを勧める。 <a href="https://finance.yahoo.co.jp/">https://finance.yahoo.co.jp/</a>		
学生へのメッセージ/Message for students	金融の基礎的な知識を習得する。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	千野 厚 / 製造業企業(ABB(株))財務部における実務経験 / 同社での資金運用・調達・リスク管理の 経験に基づき、金融の基礎を実例を用いて解説。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス
第2回	貨幣と決済の仕組み(1)
第3回	貨幣と決済の仕組み(2)
第4回	銀行による貨幣の供給(1)
第5回	銀行による貨幣の供給(2)
第6回	間接金融の仕組み(1)
第7回	間接金融の仕組み(2)
第8回	直接金融の仕組み(1)
第9回	直接金融の仕組み(2)
第10回	金融市場と金融資産
第11回	リスクと金融制度(1)
第12回	リスクと金融制度(2)
第13回	金利と資産の価格(1)
第14回	金利と資産の価格(2)
第15回	まとめ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6, 金 / Fri 6
開講期間 / Course duration	2020/06/04 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201517001502	科目番号 / Course code	15170015
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECMC 11501_036		
授業科目名 / Course title	金融概論 / Introduction to Finance		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	千野 厚 / Chino Atsushi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	千野 厚 / Chino Atsushi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	千野 厚 / Chino Atsushi		
科目分類 / Course Category	学部導入科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[ 経済 ] 経済学部講堂		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	昼間および夜間主コース1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	achino@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	本棟626		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールにて面会日時の予約をすること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教養教育学部モジュール科目の一つであり、経済学・経営学・会計学に関する諸科目を学ぶために最低限必要な金融に関する基礎知識を習得する。		
授業到達目標/Course goals	DP1 (基礎的教養と現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけている) に対応し、経済学・経営学・会計学に関する諸科目を学ぶために最低限必要な金融に関する基礎知識が理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末レポート100点で評価し、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: LACSにおいて授業資料を事前に配布し、読んでおくべき箇所を示すので、それらに目を通したうえで講義にのぞむこと。(2h) 復習: 授業資料を再読し、理解を確実にするように努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	金融市場、金融論、ファイナンス		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: 岩田規久男『テキストブック金融入門』東洋経済新報社 2008年		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特に無し		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) /Remarks (URL)	Yahooファイナンス等のサイトなどの金融・ファイナンスに関する情報に対して、常に興味を持っておくことを勧める。 <a href="https://finance.yahoo.co.jp/">https://finance.yahoo.co.jp/</a>		
学生へのメッセージ/Message for students	金融の基礎的な知識を習得する。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	千野 厚 / 製造業企業(ABB(株))財務部における実務経験 / 同社での資金運用・調達・リスク管理の経験に基づき、金融の基礎を実例を用いて解説。
---	--

授業計画詳細 / Course Schedule

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス
第2回	貨幣と決済の仕組み(1)
第3回	貨幣と決済の仕組み(2)
第4回	銀行による貨幣の供給(1)
第5回	銀行による貨幣の供給(2)
第6回	間接金融の仕組み(1)
第7回	間接金融の仕組み(2)
第8回	直接金融の仕組み(1)
第9回	直接金融の仕組み(2)
第10回	金融市場と金融資産
第11回	リスクと金融制度(1)
第12回	リスクと金融制度(2)
第13回	金利と資産の価格(1)
第14回	金利と資産の価格(2)
第15回	まとめ



学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/06/04 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201517001701	科目番号 / Course code	15170017
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECMC 11601_039		
授業科目名 / Course title	経営概論 / Introduction to Management		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 徹 / Hayashi Toru		
科目分類 / Course Category	学部導入科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[ 経済 ] 経済学部講堂		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	thaya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	本館627研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6368		
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に説明します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ビジネスの基礎を体得させ、学部共通科目への橋渡しをする。		
授業到達目標/Course goals	「基礎的教養と現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけている。」そのために、ボードゲーム Monopoly(R) の流れとルールを説明できる。都市計画・国土利用計画・ディベロッパー・企業等の公式サイトから得られる関連情報を説明できる。課題レポートを執筆できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ボードゲームを用いる。 F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	グループ活動 (ボードゲーム対戦) と講義への関与 (20%), 課題レポート (30%), 筆記試験 (50%)。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 日本語 (または The Official Rule) によるゲームの公式ルールを各自で検索して予習する こと。課題レポートに向けて、教科書を読み、執筆すること。具体例に関しては、関連するウェブ サイトや推奨メディアによって、適宜、探索すること。以上につき、各回、2時間以上を割くこと。 復習: 講義中の内容 (教科書の該当箇所と関連するウェブサイト探索を含む) と公式ルール。以上 につき、各回、2時間以上を割くこと。		
キーワード/Keywords	ビジネス, モノポリー, 意思決定		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書: 林徹 (2019) 『モノポリーで学ぶビジネスの基礎 (第2版)』中央経済社。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	必携パソコンを講義室内に持参すること。CD-ROM読み取りドライブ内蔵のノートパソコンが望まし い。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下 さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)	LACSとりわけ「連絡事項」「授業資料」「掲示板」を使用するので、随時、確認すること。		

学生へのメッセージ/Message for students	楽しんでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく 教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ 使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	林徹/横浜国立大学経営学部第二部経営学科夜間5年課程(所得税法上の勤労学生:1983-1988)に在籍中,老舗割箸小売商,有限会社遠州屋商店(横浜市中区長者町)において,横浜・川崎・藤沢・鎌倉などに位置する割烹・懐石・中華・その他飲食店・弁当加工工場などの取引(御用聞き・配達・納品・請求書手交・各種クレーム対応・約束手形と小切手の取扱を含む集金・営業と挨拶まわり),視覚障がいをおもちの内職さんとの取引(割箸袋への割箸の挿入),その他の経験/商慣行を含む小売商における取引実務の全般,トラブルに対する実践的な対処の紹介。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1-2	ガイダンス(進め方と単位取得条件),デモンストレーション,対戦。
3-10	対戦,公式ルール,交渉術,定石,などの確認。レポート課題のチェック,指導,受け取り。
11-14	事例と討議によるビジネスの基礎(経営・会計に関する専門課程への橋渡し)のマスター。レポート課題への講評。
15-16	質疑応答と筆記試験。

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201517001702	科目番号 / Course code	15170017
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECMC 11601_039		
授業科目名 / Course title	経営概論 / Introduction to Management		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
科目分類 / Course Category	学部導入科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[ 経済 ] 本館 1 2 ( 講義室 )		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yuzuru@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	東南アジア研究所209室		
担当教員TEL / Tel	+81-95-820-6384		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日14時から20時まで。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	本講義は、経営学と呼ばれる学問領域について、全体像を提供することを目的とする。とくに、管理(経営資源を配分・調整すること)に着目して論じる。経営学に関心を有する諸君は、本講義によって当該領域に関する概要を知り、以降の学修に役立てられんことを願うや切である。		
授業到達目標 / Course goals	a. 基礎的教養と現代経済社会に関する幅広い知識および思考方法を身につけている。 b. 経済学、経営学やそれらに関する法学の幅広い知識および思考方法を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	小テスト : 30% 定期試験 : 70%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>1 第1回 イン트로ダクション  復習時間(2時間): 特になし  予習時間(2時間): 教科書にある株式会社に関する箇所を購読しつつ会社法第二・三編を通読する。  長いので翌週も取り組むこと。</p> <p>2 第2回 企業形態1/2  復習時間(2時間): 教科書にある株式会社に関する箇所を購読しつつ会社法第二・三編を通読する。  長いので翌週も取り組むこと。  予習時間(2時間): 教科書にある株式会社に関する箇所を購読しつつ会社法第二・三編を通読する。  長いので前週から取り組むこと。</p> <p>3 第3回 企業形態2/2  復習時間(2時間): わが国において所有と経営の分離が達成され難い理由について、講義にて提示した以外にも理由があるので検討すること。  予習時間(2時間):</p> <p>4 第4回 企業組織1/2  復習時間(2時間): ラインやスタッフが具体的に何を意味するか、いかなる役割を果たすか確認する。  予習時間(2時間): 特になし。</p> <p>5 第5回 企業組織2/2  復習時間(2時間): 事業部制組織が成立した背景について確認する。  予習時間(2時間): 参考図書中、日程計画に関する箇所を事例を考えながら通読する。</p> <p>6 第6回 工程管理1/2  復習時間(2時間): 工程管理が他諸管理項目とどう関連するか、参考図書を用いて確認する  予習時間(2時間): 参考図書中、差立に関する箇所を事例を考えながら通読する。</p> <p>7 第7回 工程管理2/2  予習時間(2時間): 生産能力、負荷、余力など能率にまつわる主要な概念を整理する。</p> <p>8 第8回 科学的管理法1/2  復習時間(2時間): 科学的管理法が成立した背景を整理する。  予習時間(2時間): 科学的管理法が労働意欲をなぜ・どのように削ぐか検討する。</p> <p>9 第9回 科学的管理法2/2  復習時間(2時間): 人間関係論や行動科学が成立した背景を整理する。  予習時間(2時間): 参考図書中、品質管理の目的に関する箇所を通読する。</p> <p>10 第10回 品質管理1/2  復習時間(2時間): わが国社会において科学的管理法が適用される事例を探す。  予習時間(2時間): 参考図書中、平均や分散など記述統計に関する箇所を通読しつつ、高校数学における統計学に関する箇所を復習する。</p> <p>11 第11回 品質管理2/2  復習時間(2時間): 統計的品質管理について復習する。特に信頼区間について他人に説明できるようになるまで復習する。  予習時間(2時間): 特になし</p> <p>12 第12回 人事管理  復習時間(2時間): 特になし  予習時間(2時間): 労働生産性の定義を参考図書を用いて確認する</p> <p>13 第13回 労働生産性  復習時間(2時間): 講義において示した労働生産性定義と要因分解について、例題をもとに計算して確認する。  予習時間(2時間): ROIなど他経営指標と労働生産性と共通する点を整理する。</p> <p>14 第14回 労働生産性  復習時間(2時間): 特になし。  予習時間(2時間): これまで学んだことを整理する。</p> <p>15 第15回 総括  復習時間(2時間): これまで学んだことを整理する。</p>
キーワード/Keywords	所有と経営の分離; 株式会社; 科学的管理法; 人間関係論; 統計的品質管理; 品質保証; 労働生産性; 能率
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は、使用しない。担当教員が、教材を配布する。 参考書として、以下2点を挙げる。 1. 土屋守章(1994)『現代経営学入門』新世社。 2. 早川豊彦編(2004)『工業管理技術』実教出版。

受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし。 通算して4回以上欠席した学生は、定期試験を受験する権利を喪う。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	
備考（URL）/Remarks (URL)	特になし。参考書よく読むこと。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション : 講義目標と方法について説明する
第2回	企業形態1/2 : 資金調達法に着目、株式会社生成に至る過程を概説する。
第3回	企業形態2/2 : 株式会社における所有と経営の分離とその問題点について論じる。
第4回	企業組織1/2 : ライン組織やライン=スタッフ組織など諸形態について、発生と長短を論じる
第5回	企業組織2/2 : 事業部制生成と発展について、概説する。
第6回	工程管理1/2 : 生産計画、特に日程計画および工数計画について、手法を運用しながら解説する。
第7回	工程管理2/2 : 工程分析と作業研究について、意義と手法を概説する。
第8回	科学的管理法1/2 : 概要と取り組む諸活動を、背景に言及しながら論じる。
第9回	科学的管理法2/2 : 科学的管理法以降に現れた、様々な動機付け手法について解説する。
第10回	品質管理1/2 : 品質管理が掲げる目的と手法を、練習問題をとりまぜながら解説する。
第11回	品質管理2/2 : 近年における検査および品質保証活動について、意義を概説する。
第12回	人事管理 : 労働者を合理的に活用する諸活動について、概説する。
第13回	労働生産性 : 企業活動から得られる成果を評価する一指標について、計算しながら解説する。
第14回	労働生産性 : 企業活動から得られる成果を評価する一指標について、計算しながら解説する。
第15回	環境管理 : 自然環境に負荷を与えないように、なにをするべきか論じる。
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201517001901	科目番号 / Course code	15170019
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECMC 11101_038		
授業科目名 / Course title	経済概論 / Introduction to Economy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	福澤 勝彦 / Fukuzawa Katuhiko, 山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	福澤 勝彦 / Fukuzawa Katuhiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	福澤 勝彦 / Fukuzawa Katuhiko, 山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
科目分類 / Course Category	学部導入科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[ 経済 ] 本館 1 2 ( 講義室 )		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kfuku@nagasaki-u.ac.jp ( 福澤 ) junya-y@nagasaki-u.ac.jp ( 山口 )		
担当教員研究室 / Office	東南アジア研究所 2階福澤研究室 東南アジア研究所 2階山口研究室		
担当教員TEL / Tel	経済357 ( 福澤 )		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日午後1時-3時 ( 福澤 ) 木曜日午後1時-2時 ( 山口 )		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	( 福澤 ) ミクロ経済学を学ぶことで何がわかるかを学ぶとともに、経済学の対象、考え方、論理の進め方の基礎を学ぶ。 ( 山口 ) 新聞紙上のマクロ経済にかかる事象について論じるために必要な考え方等を学ぶ。		
授業到達目標 / Course goals	( 福澤 ) ミクロ経済学の手法を説明できるようになることを目標とする。 ( 山口 ) マクロ経済にかかる事象を理論的に説明できるようになることを目標とする。  DP-1基礎的教養と現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 ( 1 つ以上 3 つまで ) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末試験 ( 100% )。60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 ( 学習指導方法 ) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 : テキストの通読 ( 2 h ) 復習 : 章末問題を解く ( 2 h )		
キーワード / Keywords	ミクロ経済学、マクロ経済学		
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト : マンキュー 『マンキュー入門経済学第3版』 東洋経済新報社。		
受講要件 ( 履修条件 ) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	経済学の基礎的概念を卒業までかけて十分に理解しておくこと
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回～15回	<p>（概要） 経済学部で学ぶために必要なマクロ経済およびミクロ経済の基礎について概説する。</p> <p>（福澤） 第1回 経済学を学ぶ意味 第2回 経済学の方法と10大原理 第3回 比較優位とは何か 第4回 アイスクリームの需要はどう表されるか？ 第5回 アイスクリームの供給はどう表されるか？ 第6回 アイスクリームの価格はどうか決まるのか 第7回 価格と資源配分はどのように変化するのか？</p> <p>（山口） 第8回 景気と景気循環1 第9回 景気と景気循環2 第10回 失業、インフレーションとデフレーション 第11回 国際収支と為替レート 第12回 財政政策と金融政策 第13回 政府の役割と財政赤字 第14回 現在のマクロ経済情勢 第15回 まとめ</p>
第16回	テスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201517001902	科目番号 / Course code	15170019
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECMC 11101_038		
授業科目名 / Course title	経済概論 / Introduction to Economy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 純哉 / Yamaguchi Junya, 福澤 勝彦 / Fukuzawa Katuhiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 純哉 / Yamaguchi Junya, 福澤 勝彦 / Fukuzawa Katuhiko		
科目分類 / Course Category	学部導入科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[ 経済 ] 本館 2 2 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kfuku@nagasaki-u.ac.jp (福澤) junya-y@nagasaki-u.ac.jp (山口)		
担当教員研究室 / Office	東南アジア研究所 2階福澤研究室 東南アジア研究所 2階山口研究室		
担当教員TEL / Tel	経済357 (福澤)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日午後1時-3時 (福澤) 木曜日午後1時-2時 (山口)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	(福澤) ミクロ経済学を学ぶことで何がわかるかを学ぶとともに、経済学の対象、考え方、論理の進め方の基礎を学ぶ。 (山口) 新聞紙上のマクロ経済にかかる事象について論じるために必要な考え方等を学ぶ。		
授業到達目標 / Course goals	(福澤) ミクロ経済学の手法を説明できるようになることを目標とする。 (山口) マクロ経済にかかる事象を理論的に説明できるようになることを目標とする。  DP-1基礎的教養と現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末試験 (100%)。60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習: テキストの通読 (2h) 復習: 章末問題を解く (2h)		
キーワード / Keywords	ミクロ経済学、マクロ経済学		
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト: マンキュー 『マンキュー入門経済学第3版』 東洋経済新報社。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			



アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	経済学の基礎的概念を卒業までかけて十分に理解しておくこと
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回～15回	<p>（概要） 経済学部で学ぶために必要なマクロ経済およびミクロ経済の基礎について概説する。</p> <p>（山口） 第1回 景気と景気循環1 第2回 景気と景気循環2 第3回 失業、インフレーションとデフレーション 第4回 国際収支と為替レート 第5回 財政政策と金融政策 第6回 政府の役割と財政赤字 第7回 現在のマクロ経済情勢</p> <p>（福澤） 第8回 経済学を学ぶ意味 第9回 経済学の方法と10大原理 第10回 比較優位とは何か 第11回 アイスクリームの需要はどう表されるか？ 第12回 アイスクリームの供給はどう表されるか？ 第13回 アイスクリームの価格はどう決まるのか 第14回 価格と資源配分はどのように変化するのか？</p> <p>第15回 まとめ</p>
第16回	テスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 6
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201517001903	科目番号 / Course code	15170019
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECMC 11101_038		
授業科目名 / Course title	経済概論 / Introduction to Economy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	島田 章 / Shimada Akira		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	島田 章 / Shimada Akira		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	島田 章 / Shimada Akira		
科目分類 / Course Category	学部導入科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[ 経済 ] 本館 1 2 ( 講義室 )		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	対象年次 : 1,2,3,4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shimada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階501		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義終了直後の20分程度		
授業の概要及び位置づけ/Course overview			
授業到達目標/Course goals	経済学の基礎的な専門知識と基礎的な知的技術を習得し、それらのある程度使えるようになる (DP-1)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 ( 1つ以上3つまで ) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	中間のまとめ ( 試験またはレポートを含む ) ( 50% )、期末のまとめ ( 試験またはレポートを含む ) ( 50% )		
各回の授業内容・授業方法 ( 学習指導方法 ) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 : 参考書、日本経済新聞、統計データなどに目を通してください ( 2h )。 復習 : ノートを整理しながら、練習問題を解いてください ( 2h )。		
キーワード / Keywords	市場の価格メカニズム、政府の役割		
教科書・教材・参考書 / Materials	参考書 : 中谷武・中谷保 [ 編著 ] 『1からの経済学』中央経済社、2010年		
受講要件 ( 履修条件 ) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 ( 上記連絡先参照 ) または「アシスト広場」 ( 障がい学生支援室 ) にご相談下さい。 アシスト広場 ( 障がい学生支援室 ) 連絡先 ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948 ( E-MAIL ) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 ( URL ) / Remarks ( URL )	日本経済新聞 : <a href="https://www.nikkei.com/">https://www.nikkei.com/</a> 政府統計の窓口 : <a href="https://www.e-stat.go.jp/">https://www.e-stat.go.jp/</a>		
学生へのメッセージ / Message for students	メールを送る際はメールの件名に、2020年度『経済概論』受講者の誰々 ( 氏名 )、何番 ( 学生番号 ) で件名は何々 ( 例えば質問 ) などと書いてください。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 経済学とわたしたち(1)
第2回	経済学とわたしたち(2)
第3回	需要と供給(1)
第4回	需要と供給(2)
第5回	価格メカニズム(1)
第6回	価格メカニズム(2)
第7回	市場の限界(1)
第8回	市場の限界(2)
第9回	中間のまとめ(試験またはレポートを含む)
第10回	GDPとは何か(1)
第11回	GDPとは何か(2)
第12回	何がGDPを決めるのか(1)
第13回	何がGDPを決めるのか(2)
第14回	貨幣と金融
第15回	政府の役割
第16回	期末のまとめ(試験またはレポートを含む)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6, 金 / Fri 6
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/06/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201517002101	科目番号 / Course code	15170021
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECMC 11201_036		
授業科目名 / Course title	法学概論 / Introduction to Law		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田村 英好 / Hideyoshi Tamura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	田村 英好 / Hideyoshi Tamura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	田村 英好 / Hideyoshi Tamura		
科目分類 / Course Category	学部導入科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[ 経済 ] 経済学部講堂		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hideyoshi.tamura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	本館 (学務係が1階にある棟) 6階602号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6331		
担当教員オフィスアワー/Office hours	いつでもどうぞ。ただし、来室される場合は事前にTELかメールで日時調整をしましょう。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この講義では、法律とは何か、法律の条文はどうやって読むのか、裁判の仕組みはどうなっているのかなど、法律に関する基本的なことなどについて、その概要を学習します。		
授業到達目標/Course goals	経済学部 HP の「受講の手引き (学部)」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。 法学概論は次の DP を授業到達目標としています。 DP1: 基礎的教養と現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけている。 DP2: 経済学、経営学やそれらに関する法学の専門知識と知的技術の基礎を身につけている。 つまり、「経済学や経営学に関する法学の専門知識と知的技術の基礎を身につけている。」ということです。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポートのみで評価する。当該レポートは100点満点とし、60点以上で合格とする。 ただし、当該レポートを提出できる者は、授業に一定の割合 (具体的な割合については初回の授業 スライドで提示予定) 以上出席した者のみである。そのため、毎回の授業開始時刻までに学生証 ICカードを読み取り機に必ずタッチすること。なお、出欠状況は履修登録期間中の第1回目の授 業からカウントする。履修登録期間中であれば、履修登録の変更は可能なので、履修するかしない か迷っている人も含めて履修登録をした上で第1回目の授業から出席した方がよいと思われる。た だし、万が一、例えば、第1回目の授業の時に履修登録をしていない状態で出席した場合でも、授 業開始時刻までに学生証ICカードを読み取り機にタッチしていれば、履修登録期間中に履修登録 を行うことにより、遡って第1回目の授業も出席と記録される。(新型コロナウイルスの関係による オンライン授業があった場合は、当然、その回については学生証ICカードを読み取り機にタッチ する必要はなく、また、上記の内容が変更になる予定である。)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【事前及び事後】毎日、新聞を読むこと。法律や裁判に関する記事、あるいは関しない記事に関係 なく、新聞を読む習慣を身につけてください。(週2h。1日当たり20分弱。) 【事後】授業スライドを見返して、講義内容の理解を深めること。(週2h)		
キーワード/Keywords	法学、法律、裁判		

教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】 「ポケット六法（令和2年版）」（有斐閣） （注）必ず持参すること！
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	<a href="https://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0100/">https://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0100/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回の授業スライドで提示予定の授業上のルールを守れそうにない人、大学生だから授業なんか適当に出て遊んでやると思っている人などには、この授業はおすすめしません！もちろん履修しても構いませんが、この授業に限らず、授業に出てスマホをいじったり、寝たりしているだけの学生生活で本当によいのか、よく考えてください。卒業して社会に出たら、できる人がたくさんいます。その中であなたも働かなくてはなりません。そんなときに経済学や法学などで学んだことを活かしていく必要があるのです。</li> <li>・なお、法律の条文を読むことを面白いと思う人はあまりいないと思いますが、この授業では教科書である「ポケット六法（令和2年版）」（有斐閣）を使用して、法律の条文を実際に読む場面が多くあります。その点をご承知おきください。法律の勉強のうちの一つは法律の条文を実際に読むことだと私は思っています。</li> <li>・授業スライドや資料は複数回分をまとめて事前にLACSに掲載します。掲載する場合は授業の前日21時までに掲載するため、前日21時以降から授業開始前までに毎回必ず確認してください（複数回分をまとめて掲載するため、新しく掲載されていない場合ももちろんあります）。そして、授業スライドや資料は印刷して、教科書とともに必ず持参してください。（授業中にスマホやタブレット、PCでは見ないでください。）</li> <li>・授業スライドや資料のSNSなどでの公開は厳禁です。</li> </ul>
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y/N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	田村英好 / 税務行政に携わった経験 / 税務行政に携わった経験にも触れつつ、授業を進める。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	1. 法って？ （とりあえずいろいろなことを知ろう）
第3回	1. 法って？ （とりあえずいろいろなことを知ろう）
第4回	1. 法って？ （とりあえずいろいろなことを知ろう）
第5回	2. 法律の条文の読み方
第6回	2. 法律の条文の読み方
第7回	3. 法の機能
第8回	3. 法の機能
第9回	4. 法的安定性
第10回	4. 法的安定性
第11回	5. 法の分類
第12回	6. 裁判の仕組みや判決文の読み方
第13回	6. 裁判の仕組みや判決文の読み方
第14回	6. 裁判の仕組みや判決文の読み方
第15回	7. 法令の執行の現場
第16回	8. まとめ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6, 金 / Fri 6
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/06/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20201517002102	科目番号 / Course code	15170021
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECMC 11201_036		
授業科目名 / Course title	法学概論 / Introduction to Law		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田村 英好 / Hideyoshi Tamura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	田村 英好 / Hideyoshi Tamura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	田村 英好 / Hideyoshi Tamura		
科目分類 / Course Category	学部導入科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[ 経済 ] 経済学部講堂		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hideyoshi.tamura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	本館 (学務係が1階にある棟) 6階602号室		
担当教員TEL / Tel	095-820-6331		
担当教員オフィスアワー / Office hours	いつでもどうぞ。ただし、来室される場合は事前にTELかメールで日時調整をしましょう。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この講義では、法律とは何か、法律の条文はどうやって読むのか、裁判の仕組みはどうなっているのかなど、法律に関する基本的なことなどについて、その概要を学習します。		
授業到達目標 / Course goals	経済学部 HP の「受講の手引き (学部)」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。法学概論は次の DP を授業到達目標としています。 DP1: 基礎的教養と現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけている。 DP2: 経済学、経営学やそれらに関する法学の専門知識と知的技術の基礎を身につけている。つまり、「経済学や経営学に関する法学の専門知識と知的技術の基礎を身につけている。」ということです。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	レポートのみで評価する。当該レポートは100点満点とし、60点以上で合格とする。ただし、当該レポートを提出できる者は、授業に一定の割合 (具体的な割合については初回の授業スライドで提示予定) 以上出席した者のみである。そのため、毎回の授業開始時刻までに学生証ICカードを読み取り機に必ずタッチすること。なお、出欠状況は履修登録期間中の第1回目の授業からカウントする。履修登録期間中であれば、履修登録の変更は可能なので、履修するかしないか迷っている人も含めて履修登録をした上で第1回目の授業から出席した方がよいと思われる。ただし、万が一、例えば、第1回目の授業の時に履修登録をしていない状態で出席した場合でも、授業開始時刻までに学生証ICカードを読み取り機にタッチしていれば、履修登録期間中に履修登録を行うことにより、遡って第1回目の授業も出席と記録される。(新型コロナウイルスの関係によるオンライン授業があった場合は、当然、その回については学生証ICカードを読み取り機にタッチする必要はなく、また、上記の内容が変更になる予定である。)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	【事前及び事後】毎日、新聞を読むこと。法律や裁判に関する記事、あるいは関しない記事に関係なく、新聞を読む習慣を身につけてください。(週2h。1日当たり20分弱。) 【事後】授業スライドを見返して、講義内容の理解を深めること。(週2h)		
キーワード / Keywords	法学、法律、裁判		

教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】 「ポケット六法（令和2年版）」（有斐閣） （注）必ず持参すること！
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	<a href="https://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0100/">https://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0100/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回の授業スライドで提示予定の授業上のルールを守れそうにない人、大学生だから授業なんか適当に出て遊んでやると思っている人などには、この授業はおすすめしません！もちろん履修しても構いませんが、この授業に限らず、授業に出てスマホをいじったり、寝たりしているだけの学生生活で本当によいのか、よく考えてください。卒業して社会に出たら、できる人がたくさんいます。その中であなたも働かなくてはなりません。そんなときに経済学や法学などで学んだことを活かしていく必要があるのです。</li> <li>・なお、法律の条文を読むことを面白いと思う人はあまりいないと思いますが、この授業では教科書である「ポケット六法（令和2年版）」（有斐閣）を使用して、法律の条文を実際に読む場面が多くあります。その点をご承知おきください。法律の勉強のうちの一つは法律の条文を実際に読むことだと私は思っています。</li> <li>・授業スライドや資料は複数回分をまとめて事前にLACSに掲載します。掲載する場合は授業の前日21時までに掲載するため、前日21時以降から授業開始前までに毎回必ず確認してください（複数回分をまとめて掲載するため、新しく掲載されていない場合ももちろんあります）。そして、授業スライドや資料は印刷して、教科書とともに必ず持参してください。（授業中にスマホやタブレット、PCでは見ないでください。）</li> <li>・授業スライドや資料のSNSなどでの公開は厳禁です。</li> </ul>
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y/N）	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name/Details of practical experience/Contents of course	田村英好/税務行政に携わった経験/税務行政に携わった経験にも触れつつ、授業を進める。
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	1. 法って？ （とりあえずいろいろなことを知ろう）
第3回	1. 法って？ （とりあえずいろいろなことを知ろう）
第4回	1. 法って？ （とりあえずいろいろなことを知ろう）
第5回	2. 法律の条文の読み方
第6回	2. 法律の条文の読み方
第7回	3. 法の機能
第8回	3. 法の機能
第9回	4. 法的安定性
第10回	4. 法的安定性
第11回	5. 法の分類
第12回	6. 裁判の仕組みや判決文の読み方
第13回	6. 裁判の仕組みや判決文の読み方
第14回	6. 裁判の仕組みや判決文の読み方
第15回	7. 法令の執行の現場
第16回	8. まとめ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20201517002301	科目番号 / Course code	15170023
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECMC 11401_038		
授業科目名 / Course title	国際関係概論(GSR論) / Introduction to International Relations(GSR)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤田 泰昌 / Taisuke Fujita		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤田 泰昌 / Taisuke Fujita		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤田 泰昌 / Taisuke Fujita		
科目分類 / Course Category	学部導入科目, 学部モジュール科目, 自由科目(教養・専門)		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[ 経済 ] 経済学部講堂		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	fujitattf@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	本館606		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜: 14時30分 ~ 15時30分		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>国際社会のグローバル化が進んだと言われて久しいが、皆さんは国際社会(特に国外)の現状や課題を把握できているだろうか。国際社会を舞台に働く困難や意義とはどのようなものなのだろうか。今後、社会に出るまでの数年間、どのような問題意識をもって、どのような課題に取り組めば良いのだろうか。</p> <p>こうしたことを考える機会を本講義は提供する。世界の様々な地域や分野で活躍される方々を、公的部門(国際機関や国内省庁)、民間部門(国際的企業)、そして社会的部門(NGOなど)からお招きし、受講生が今後に向けた刺激を受ける機会とする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	基礎的教養と現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につける		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy    汎用的能力 / Generic Competence    倫理観 / Ethics    多様性の理解 / Understanding Diversity    協働性 / Cooperativeness    考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas    国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	出席回数&リアクション・ペーパー(40点満点), 講師への質問(30点満点), 期末レポート(40点満点) 合計110点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	【予習】事前にWeb上で配布される資料に目を通す, 国際的なニュースや新聞記事などに毎日目を通す。(2h) 【復習】講義ノートおよびWeb上の資料により復習を行い、それを踏まえて今後について考える。(2h)		
キーワード / Keywords	GSR, 国際社会, 国際機関, 政府, 企業, NGO		
教科書・教材・参考書 / Materials	特になし		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		



備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業では、臆せず積極的に質問してください。 各回の講師や内容は変更する可能性があります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	近藤哲生 (第5回) / 国連開発計画 (UNDP) 駐日代表 (現職) / 現職の経験に基づき、グローバル社 会についての授業を行う。 小川一弥 (第6回) / グローバル・リンク・マネージメント (現職) / 現職の経験に基づき、グロー バル社会についての授業を行う。 高橋秀行 (第7回) / ステートストリート信託銀行会長 (現職) / 現職の経験に基づき、グローバル 社会についての授業を行う。 近藤智子 (第8回) / MS&ADインシュアランス・ホールディングス常勤監査役 (現職) / 現職での経 験に基づき、グローバル社会についての授業を行う。 市川善和 (第9回) / 双日総合研究所経営管理部長 (現職) / 現職の経験に基づき、グローバル社会 についての授業を行う。 槌谷裕司 (第10回) / 国立公文書館 公文書管理分析官 (現職) / 現職の経験に基づき、グローバル 社会についての授業を行う。 東 良信 (第11回) / 元ルーマニア大使 / 大使の経験に基づき、グローバル社会についての授業を行 う。 中島伸一郎 (第12回) / 三井住友海上あいおい生命理事コンプライアンス部長 (現職) / 現職の経 験に基づき、グローバル社会についての授業を行う。 多田幸雄 (第14回) / 双日総合研究所相談役 (現職) / 現職の経験に基づき、グローバル社会につ いての授業を行う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	イントロダクション
2	グローバル人材とは
3	国際関係とは
4	Global Social Responsibilityとは
5	UNDPとSDGs ~ 持続可能な未来への取り組み ~ (UNDP: 国連開発計画 近藤先生)
6	途上国での支援: 統計管理からのアプローチ (グローバル・リンク・マネージメント 小川先生)
7	グローバル社会と日本(金融の視点から) (ステートストリート銀行: 高橋先生)
8	再保険を通してみる国際マーケットのダイナミズム (MS&ADインシュアランス・ホールディングス 近藤先生)
9	世界と日本と総合商社、そして、あなた ~ 本当の勝負はここから始まる ~ (双日総研 市川先 生)
10	令和使節団『デジタル・シルクロード』の旅 (国立公文書館 公文書管理分析官 槌谷先生)
11	大きく変わる国際社会における日本外交・・・外交の現場から・・・ (元駐ルーマニア大使 東 先生)
12	駐在をして感じた日韓ビジネスの違い (三井住友海上あいおい生命 中島先生)
13	国際機関と私たち (経済学部・財務省 山岡先生)
14	2045年のSDGsを考える (双日総研 多田先生)
15	まとめ